

世界で活躍する 女性レフリーの道を拓く

くわい あ の 桑井 亜乃 KUWAI ANO アルカス熊谷所属ラグビーレフリー

Rugby referee



ラグビー界では男女含めて世界で初めて、選手とレフリー両方でオリンピックに出場。選手としてはリオ2016オリンピックに出場し、レフリーとしてはパリ2024オリンピックで主審を務めた。レフリーに転じて以降、男子プロチームの埼玉パナソニックワイルドナイツなどの練習に参加しハイレベルなトレーニングを行なったほか、海外留学をするなど研鑽に努めた。現在も、男子プロリーグのリーグワン2024-25シーズンで女性初の審判に選出されるなど、前人未踏の挑戦を続けている。内閣府特命担当大臣（男女共同参画）表彰 令和7年度「女性のチャレンジ賞」受賞。（熊谷市在勤）

- 朝起きてまずすること… 鏡を見る
- 好きな食べ物…………… 肉
- リラックスタイム …… 犬と散歩しながら コーヒーを飲む
- 尊敬する人…………… いっぱいます
- 60歳の私…………… 子供や孫に囲まれて 団らんをしている

ラグビー選手からレフリーへ

大学の時、体育の授業で初めてラグビーというスポーツを知って、ただボールを持って走る、こんなに楽しいスポーツがあったんだ、と思いました。大学時代は陸上競技（円盤投げ）をしていましたが、2016年からラグビーがオリンピック種目に正式に採用されたこともあって、2012年の卒業後、本格的にラグビーを始めました。

練習はとてきまなかったですが、日々できなかったことができるようになっていくという楽しさや、ラグビーの面白さ、奥深さを知ることができました。きつい練習を乗り越えたその先に、オリンピックがあったという感じです。陸上で培った体幹の強さや、スクラムでヒットした時の海外選手に負けないパワーは、自分の強みだったかなと思います。

引退して何をやるか迷っていた時、今のコーチが「世界で活躍するレフリーに興味はないか」と誘ってくれました。「3年後のオリンピック（パリ2024）に出られる可能性はありますか？」と聞いたら、「不可能ではない」と。「どんなに難しくても、少しでも可能性があるんだったら、オリンピックにチャレンジしたいです」とお話をし、そこから私のレフリー人生が始まりました。

選手の時には気づかなかったことや、レフリーになって初めて知ったこと、感じたことはたくさんあります。まず、試合にはレフリーもしっかり準備をして舞台に立っているということです。そして、試合で評価されるのは、選手もレフリーも同じだということです。選手の時立ったオリンピックの舞台に、レフリーという立場で出場できたのは、人生を2倍楽しめている感じがします。

強く、美しく

ラグビーは男性のスポーツというイメージがあると思いますが、レフリーも同じです。特にリーグワンは男子のプロリーグなので、女性がレフリーをするなんて今まで考えられなかったぐらいです。

私はリーグワン（2024-25シーズン）で初の女性レフリーですが、正直なところ苦労だらけです。最初にレフリーに入った時の記事には、「女性が男性のスピードについてい

けるの?」とか、「本当に女性がレフリーできるの?」「大丈夫?」などのコメントが多くつきました。

私は女性もレフリーができると知ってもらいたいし、会場に来て、見て、それを感じ取ってほしいです。そして今後、女性レフリーが入った時に、こうした色眼鏡がなくなればいいなと思います。

私はレフリーとして、「強く、美しく」ありたいと思っています。強さというのは準備の段階から出てくると思っていて、グラウンド以外でも芯が通った行動をしていれば、グラウンドの上で強く見えると思っています。美しくというのは、所作も含めて、頑張っている姿が美しくありたいです。自分自身だけでなく、周りの人にもそう思ってもらえたらいいなと思っています。

女性レフリーの道を拓く

現役の選手たちは、そもそもレフリーに興味がないことがほとんどです。でも、私がレフリーをすることによって、選手引退後にレフリーになってオリンピックに行く、という新しい道ができたと思います。コーチに「あなたがこの壁を突破しないと、女子が男子（リーグワン）の中に入るのに、この先何十年もかかってしまう」と言われて、絶対に達成したいという目標に変わりました。どうしたら世界に行けるか、どうしたらリーグワンに行けるか、私が突破することによって後輩たちがスムーズに入れるような道ができたらと思いました。後に続いてもらえたら嬉しいです。

チャレンジしないと見えない景色はたくさんあるので、これを読んでくださっている方も、もしやりたいことがあるなら、やってみたらいいと思います。チャレンジしないで後悔するより、した方がいい。なぜなら、たとえ失敗しても、それまでの過程が人生にとってプラスになるし、より成長できると思うからです。私は今の人生で、あの時やっておけば良かった、というのはないですね。

私は「初」という言葉がすごく好きです。世界で初めて、選手とレフリーの両方でオリンピックに出場は、ラグビー界にとって大きなことだったと思っています。

令和7年度 埼玉県荻野吟子賞 候補者募集

① 個人・団体部門（大賞・奨励賞）

先駆的な活動などにより各分野で特に功績が著しく、今後の活躍が期待できる以下の個人又は団体

- 県内に在住（勤・学）又は県出身の個人
- 県内に所在する団体

② いきいき職場部門（いきいき職場部門賞）

県内に所在し、女性の能力活用、男女の職域拡大又は仕事と子育て、家庭生活との両立支援など男女が共同して参画することができる職場づくりに積極的に取り組んでいる事業所

募集方法

募集期間

問合せ

本県出身で日本初の公認女性医師である「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所を表彰します。

① 個人・団体部門

市町村、団体又は個人の推薦により、推薦書に必要事項を記入の上、応募してください（推薦以外の情報提供も可）

② いきいき職場部門

市町村、団体、事業所、個人又は埼玉県地域振興センター所長（事務所長を含む）の推薦により、推薦書に必要事項を記入の上、育児・介護休業に関する規則の写しを添付して、応募してください（自薦も可）

令和7年7月15日（火）～9月30日（火）

埼玉県県民生活部 人権・男女共同参画課
TEL 048-830-2921 FAX 048-830-4755
E-mail a2250-05@pref.saitama.lg.jp

推薦書や
募集リーフレットは
県ホームページに
掲載しています。

